

Veritas NetBackup™ Appliance リリースノート

リリース 4.1

Veritas NetBackup™ Appliance リリースノート

最終更新日: 2021-07-20

法的通知と登録商標

Copyright © 2021 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、NetBackup は、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、サードパーティの所有物であることをベリタスが示す必要のあるサードパーティソフトウェア（「サードパーティプログラム」）が含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。このベリタス製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所から入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

本書は、現状のままで提供されるものであり、その商品性、特定目的への適合性、または不侵害の暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証はすべて免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Veritas Technologies LLC は、この文書の供給、履行、または使用に関連して付随的または間接的に起こる損害に対して責任を負いません。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンスソフトウェアおよび文書は、FAR 12.212 に定義される商用コンピュータソフトウェアと見なされ、ベリタスがオンプレミスサービスまたはホストサービスとして提供するかを問わず、必要に応じて FAR 52.227-19「商用コンピュータソフトウェア - 制限される権利 (Commercial Computer Software - Restricted Rights)」、DFARS 227.7202「商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェア文書 (Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation)」およびそれらの後継の規制に定める制限される権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
2625 Augustine Drive
Santa Clara, CA 95054

<http://www.veritas.com>

テクニカルサポート

テクニカルサポートは世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、お客様のサポート契約およびその時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供

されます。サポートサービスとテクニカルサポートへの問い合わせ方法については、次の弊社の Web サイトにアクセスしてください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

次の URL でベリタスアカウントの情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関する質問については、次に示す地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

世界共通 (日本を除く)

CustomerCare@veritas.com

日本

CustomerCare_Japan@veritas.com

マニュアル

マニュアルの最新バージョンがあることを確認してください。各マニュアルには、2 ページ目に最終更新日が記載されています。最新のマニュアルは、ベリタスの Web サイトで入手できます。

https://www.veritas.com/content/support/en_US/dpp.Appliances.html

マニュアルに対するご意見

お客様のご意見は弊社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの誤謬脱漏などの報告をお願いします。その際には、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。ご意見は次のアドレスに送信してください。

APPL.docs@veritas.com

次のベリタスコミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<http://www.veritas.com/community/ja>

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) の表示

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) は、時間がかかる管理タスクを自動化および簡素化するための情報とツールを提供する Web サイトです。製品によって異なりますが、SORT はインストールとアップグレードの準備、データセンターにおけるリスクの識別、および運用効率の向上を支援します。SORT がお客様の製品に提供できるサービスとツールについては、次のデータシートを参照してください。

https://sort.veritas.com/data/support/SORT_Data_Sheet.pdf

目次

第 1 章	NetBackup appliance 4.1 について	6
	NetBackup appliance 4.1 について	6
	NetBackup Appliance のサードパーティの法的通知	7
第 2 章	NetBackup appliance 4.1 の機能、拡張機能、変更	8
	新機能、拡張機能、および変更点について	8
	NetBackup Appliance 4.1 の新機能、拡張機能、変更点	8
第 3 章	NetBackup Appliance ハードウェアの機能	13
	NetBackup 52xx のハードウェアの機能	13
	NetBackup 53xx のハードウェアの機能	15
	NetBackup 5330 アプライアンスのストレージシェルフについて	18
	5U84 ストレージシェルフについて	19
	NetBackup Appliance ハードウェアの比較	20
	NetBackup Appliance のメモリ要件について	23
第 4 章	NetBackup Appliance の互換性	24
	NetBackup Appliance ソフトウェアのアップグレードについて	24
第 5 章	操作上の注意事項	25
	NetBackup appliance 4.1 の運用上の注意について	25
	NetBackup Appliance 4.1 の新しい運用上の注意	26
	アップグレードとロールバックの注意	27
	NetBackup Appliance の一般的な注意	27
	NetBackup Appliance ユーザーインターフェースの注意	30
	インストールと構成の注意	33
	高可用性に関する注意事項	35
	NetBackup サポートユーティリティについて	36
	NBDNA (NetBackup Domain Network Analyzer)	36
	NetBackup サポートユーティリティ (NBSU)	38
	その他の利用可能なサポートについて	38
	NetBackup appliance のログファイルについて	38

付録 A	リリース内容	41
	現在のリリース内容について	41
	NetBackup Appliance のセキュリティリリース内容	42
付録 B	関連マニュアル	43
	NetBackup Appliance のマニュアルについて	43

NetBackup appliance 4.1 について

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup appliance 4.1 について](#)
- [NetBackup Appliance のサードパーティの法的通知](#)

NetBackup appliance 4.1 について

『NetBackup Appliance リリースノート』は、NetBackup Appliance のリリース時点におけるバージョンの情報を概説したものです。古い情報と該当のリリースに当てはまらない情報はリリースノートから除外されています。古い情報は以前の NetBackup Appliance マニュアルで調べることができます。

アプライアンスのリリース時、NetBackup の最新版がアプライアンスのコード構築基盤として使われます。それによって NetBackup 内でリリースされたすべての適用可能な機能、拡張機能、修正がアプライアンスの最新リリースに確実に含まれることになります。

このリリースでは、NetBackup Appliance ソフトウェアに存在するいくつかの既知の問題を修正しています。これらの問題の多くは、テクニカルサポートケースの形式で文書化されているお客様固有の問題に関するものです。このリリースで加えられた修正の多くは個別のエンジニアリングバイナリおよびエンジニアリングバンドル (EEB) として利用可能です。EEB は、NetBackup Appliance ソフトウェアの以前のバージョンにおけるお客様固有の問題に対処するために作成されました。このリリースで作成され、導入されたエンジニアリングバイナリとバンドルは、Veritas SORT (Services and Operations Readiness Tools) やこのマニュアルの付録の「リリース内容」で確認できます。

NetBackup ソフトウェアバージョン 9.1 は NetBackup appliance 4.1 のリリースに付属しています。NetBackup 9.1 の新しい機能、拡張および修正については、Veritas のサポート Web サイトの文書『NetBackup 9.1 リリースノート』に記載しています。

NetBackup Appliance のサードパーティの法的通知

NetBackup Appliance の製品には、ベリタスが帰属を明示する必要があるサードパーティのソフトウェアが含まれている場合があります。一部のサードパーティプログラムは、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスに基づいて提供されています。ソフトウェアに含まれる使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。

これらのサードパーティプログラムの所有権の表記およびライセンスについては、次の Web サイトにある『NetBackup Appliance Third-party Legal Notices』ドキュメントに記載されています。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

NetBackup appliance 4.1 の機能、拡張機能、変更

この章では以下の項目について説明しています。

- [新機能、拡張機能、および変更点について](#)
- [NetBackup Appliance 4.1 の新機能、拡張機能、変更点](#)

新機能、拡張機能、および変更点について

このリリースでは新機能の導入に加えて、NetBackup Appliance の以前のリリースから機能が強化され、改善されています。このリリースの NetBackup Appliance の新機能、拡張機能、および変更点については、この章の以降のセクションを参照してください。

NetBackup Appliance 4.1 の新機能、拡張機能、変更点

次のリストに、NetBackup appliance 4.1 リリースの新機能、拡張機能、変更点を示します。

- **4.1 への直接アップグレードパス**
以下に、サポートされているバージョン 4.1 への直接アップグレードパスを説明します。
 - バージョン 3.1.1、3.1.2、3.2、3.3.0.1、4.0 のソフトウェアを搭載した 5240、5330、または 5340 Appliance
 - バージョン 3.2、3.3.0.1、および 4.0 のソフトウェアを搭載した 5250 Appliance
 - バージョン 4.0 のソフトウェアを搭載した 5350 Appliance

バージョン 4.1 へのアップロードについて詳しくは、『NetBackup Appliance アップグレードガイド』を参照してください。

- **ファイバーチャネル HBA ベンダー**
 ベリタスは、自社判断で、現在利用可能なすべての **NetBackup Appliance** モデルに同梱されているカードの代替品として、他社製のファイバーチャネル HBA カードを追加するか、これに置換する場合があります。ファイバーチャネル HBA を代替または置換しても、アプライアンスのファイバーチャネル構成には影響しません。
- **NetBackup Appliance の用語変更**
 このリリースから、**NetBackup Appliance** のインターフェースとマニュアルでは以下の用語が変更されています。
 - マスターサーバーの代わりに「プライマリサーバー」を使用
 - ホワइटリストの代わりに「許可リスト」を使用
 - ブラックリストの代わりに「遮断リスト」を使用
 これらはほとんど変更されていますが、一部のメッセージ、インターフェースの画面キャプチャ、線画、または画像に引き続き以前の用語が表示される場合があります。残りの更新は、次のソフトウェアリリースで対応します。

メモ: 一部のシステムメッセージに「スレーブ」という単語が含まれる場合があります。この用語は **NetBackup Appliance** のコードではなく、この製品に含まれているサードパーティのパッケージまたはアプリケーションに存在します。たとえば、**Linux** や **Samba** などです。この用語が使用されるのは最小限であり、ほとんどの場合、**Main > Network > LinkAggregation** コマンドで使用されるオプションまたは変数名とともにシステムメッセージに表示されます。これらのベンダー側に、パッケージまたはアプリケーションで必要な変更を行う責任があります。用語の変更に関して、ベリタスは現在サードパーティベンダーのスケジュールを把握していません。

- **サポート対象のレガシーアプライアンスモデルに対するファイバートランスポートの構成の柔軟性の拡張**
 このリリース以降、**FTMS** (ターゲット)、**MSDP** (ターゲット)、またはイニシエータで任意の利用可能な **HBA** ファイバーチャネル (**FC**) ポートを構成できます。この変更により、スロット 5 と 6 の **HBA** カードでのみ、**SAN** クライアント構成に関する以前の制限事項が削除されます。これらの変更の唯一の例外は、**NetBackup 5330** および **5340 Appliance** のスロット 1 と 4 の **HBA** カードに適用されます。すべてのアプライアンスで出荷時のデフォルト構成は変更されません。ただし、**Web** コンソールとアプライアンスシェルメニューからのファイバートランスポートとファイバーチャネルの構成方法は変更されました。詳しくは、次のマニュアルを参照してください。
 『NetBackup Appliance 管理者ガイド』
 『NetBackup Appliance ファイバーチャネルガイド』
 『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』

- **NetBackup CLI ユーザーに対するデフォルトの RBAC 権限の変更**
このリリース以降、NetBackup CLI ユーザーにはデフォルトで NetBackup RBAC 権限が付与されなくなりました。これには、既存の NetBackup CLI ユーザーによる新規の 4.1 以降のアプライアンス配備、またはバージョン 4.1 以降へのアプライアンスのアップグレードが含まれます。これらのユーザーが NetBackup Web UI または REST API へのアクセスを必要とする場合は、適切な NetBackup RBAC 権限を手動で付与する必要があります。詳しくは、『NetBackup Web UI 管理者ガイド』を参照してください。
- **NFS、NMB、SMB サービスを管理するための新しいコマンドオプション**
このリリース以降、新しい Main > Support > Service コマンドオプションを使用して、アプライアンスの NFS、NMB、SMB サービスを完全に管理できます。新しいオプションは [Service Disable]、[Service Enable]、[Service Show] です。詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。
- **ログ転送プラグインと OpenStorage プラグインの CIFS および NFS 共有フォルダの場所の変更**
このリリース以降、ログ転送プラグインと OpenStorage プラグインのフォルダの場所は次のように変更されました。
 - ログ転送/CIFS - %server_name%logforwarding から %server_name%general_share に変更
 - ログ転送/NFS - server_name:/inst/logforwarding から server_name:/inst/share に変更
 - OpenStorage/CIFS - %server_name%incoming_plugins から %server_name%general_share に変更
 - OpenStorage/NFS - server_name:/inst/plugin/incoming から server_name:/inst/share に変更
- **Beacon Start コマンドオプションから Beacon Duration コマンドオプションへの置換**
このリリース以降、Main > Monitor > Beacon Duration コマンドオプションは次のオプションに置換されています。
 - Main > Monitor > Beacon Start Enclosure
 - Main > Monitor > Beacon Start HDD
 - Main > Monitor > Beacon Start WWID各オプションのデフォルト時間も 10 分から 5 分に変更されました。その他のすべてのオプションパラメータは変更ありません。詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。
- **CleanMonInvData コマンドの場所の変更**

このリリース以降、CleanMonInvData コマンドは、Main > Support > InfraServices ビューから Main > Support > Cleanup ビューに移動されました。この変更により、このコマンドは、他のすべてのクリーンアップ関連コマンドとともに配置されるようになりました。

- 新しい DataCollect v2 コマンド

このリリース以降、次のコマンドが Main > Support > DataCollect ビューに追加されました。

- DataCollect v2 Advanced: より高レベルなデバッグのための詳細なログを含む、アプライアンスの **datacollect** ログを収集するために使用します。
- DataCollect v2 Advanced Cleanstart: 以前のアプライアンスのすべての **datacollect** ログを削除し、新しい高度な **datacollect** ログを収集するために使用します。
- DataCollect v2 Upload <absolute_file_path>: 指定した **datacollect** ログファイルをベリタスのサーバーにアップロードするために使用します。

既存の DataCollect v2 Upload コマンドは、常に最新の **datacollect** ログをベリタスのサーバーにアップロードするように変更されました。

詳しくは、『**NetBackup Appliance** コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

- Java ベースのサービスの FIPS 検証

このリリース以降、すべての Java ベースのサービスで FIPS 140-2 標準がデフォルトで有効になっています。FIPS 検証は、SafeLogic 社の CryptoComply モジュールを使用して実行されます。

詳しくは、『**NetBackup Appliance** セキュリティガイド』を参照してください。

- ベリタスのサポートサイトで利用可能な STIG の一覧

このリリース以降、STIG ルールの一覧が『**NetBackup Appliance** セキュリティガイド』から削除されました。すべての STIG ルールの一覧は、ベリタスのサポートサイトに別々のマニュアルで掲載されています。現在、OS とアプリケーションセキュリティの STIG 用に 2 つのチェックリストが利用可能です。これらのマニュアルの入手方法については、[ベリタスダウンロードセンター](#)の[最新リリース (Latest releases)]ページに移動して[**NetBackup Appliance OS**]に移動し、[詳細はこちら (Learn more)]をクリックします。

- KMS 暗号化を有効にするための新しい RBAC 要件

このリリース以降、KMS 暗号化の有効化に使用する NetBackupCLI ユーザーには、デフォルトのセキュリティ管理者役割が割り当てられている必要があります。

KMS 暗号化の有効化について詳しくは、『**NetBackup Appliance** セキュリティガイド』を参照してください。

- アプライアンスでロックされたアカウントを管理する新しいコマンド

このリリース以降、新しい Settings > Security > Authentication >

AccountStatus コマンドビューを使用して、ロックされたアカウントを表示および回復

できます。新しいコマンドラインのオプションは `ListLockedAccounts` と `UnlockAccounts` です。詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

- アプライアンスに外部認証局 (ECA) を登録する新しいコマンド
このリリース以降、新しい `Settings > Security > Certificate` コマンドビューでアプライアンスの外部証明書を管理できます。`AddCACertificate` コマンドラインオプションが新しく追加され、**NetBackup** 層と **NetBackup Appliance** 層で ECA を登録および有効にするように `Import` コマンドラインオプションが変更されました。詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。
- 証明書署名要求 (CSR) を作成または表示する新しいコマンド
このリリース以降、新しい `Settings > Security > Certificate > CertificateSigningRequest` コマンドビューを使用して **CSR** を生成または表示できます。新しいコマンドラインのオプションは `Create` と `Show` です。詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

NetBackup Appliance ハードウェアの機能

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup 52xx のハードウェアの機能](#)
- [NetBackup 53xx のハードウェアの機能](#)
- [NetBackup Appliance ハードウェアの比較](#)

NetBackup 52xx のハードウェアの機能

NetBackup 52xx ハードウェアアーキテクチャは同じソフトウェアを実行するので、次のいずれのモードでも構成できます。

- アプライアンスプライマリサーバー
- アプライアンスプライマリサーバーとアプライアンスメディアサーバー
- アプライアンスのメディアサーバーのみ

NetBackup Appliance の互換性に関する最新情報については、次のサイトに掲示されている「NetBackup ハードウェア互換性リスト」を参照してください。

<http://www.veritas.com/docs/100036440>

52xx Appliance のすべてのアーキテクチャは、特に明記されていない限り以下の機能をサポートします。

- 5240 - デュアルプロセッサ、8 つのコアプロセッサ、Intel ベースのシステム
- 5250 - デュアルプロセッサ、8 つのコアプロセッサ、Intel ベースのシステム
- それぞれに、いくつかのホットスワップ外部ドライブがある
- 外部テープドライブをサポートするファイバーチャネル接続。

- 基本構成は、ギガビットイーサネットネットワークをサポートする
- 高性能ハードウェア RAID コントローラ
- それぞれが、コードベースとして NetBackup を使用する
- RHEL オペレーティングシステム (ベリタス提供)。Veritas
- それぞれが、NetBackup Appliance ソフトウェアの最新版を実行できる
- それぞれが、メディアサーバー重複排除ブル (MSDP) ストレージをサポートする (メディアサーバーとして構成されている場合)。MSDP は 52xx Appliance の利用可能な最大ストレージ容量を上限に提供する

NetBackup 5240 Appliance は、Intel X710 10Gb イーサネットカードをシステムの標準またはオプションとして使用します。

NetBackup 5240 Appliance には、構成に応じて 4 TB から 27 TB までのフォーマット済み総ストレージ容量を提供する 8 つの内部ストレージディスクドライブが含まれています。

NetBackup 5250 Appliance は、Intel X710 10 Gb イーサネットカードをシステムの標準またはオプションとして使用します。

NetBackup 5250 Appliance には、構成に応じて 9.1 TB から 36.4 TB までのフォーマット済み総ストレージ容量を提供する 8 つの内部ストレージディスクドライブが含まれています。

NetBackup 52xx Appliance には、追加ストレージとして Veritas Storage Shelf を接続できます。

次に、ストレージシェルフを接続する場合としない場合に NetBackup 5250 Appliance で利用可能なフォーマット済みストレージ容量を示します。

表 3-1 利用可能ストレージ容量 - NetBackup 5250 Appliance および Veritas 2U12 65.5 TiB/72 TB ストレージシェルフ

Appliance のみ	ストレージ シェルフ容 量	アプライア ンスと 1 台 のストレ ージシェルフ	アプライア ンスと 2 台 のストレ ージシェルフ	アプライア ンスと 3 台 のストレ ージシェルフ **	アプライア ンスと 4 台 のストレ ージシェルフ	アプライア ンスと 5 台の ストレ ージ シェルフ***	Appliance と 6 台のストレ ージシェルフ
10 TB (9.1 TiB)	72 TB (65.5 TiB)	82 TB (74.6 TiB)	154 TB (140.1 TiB)	226 TB (205.6 TiB)	298 TB (271.1 TiB)	370 TB (336.6 TiB)	442 TB (402.1 TiB)
40 TB (36.4 TiB)	72 TB (65.5 TiB)	112 TB (101.9 TiB)	184 TB (167.4 TiB)	256 TB (232.9 TiB)	328 TB (292.4 TiB)	400 TB (363.9 TiB)	472 TB (429.4 TB)

ストレージ容量について詳しくは、『NetBackup 5250 Appliance 製品説明』を参照してください。

「表 3-2」に、ストレージシェルフを接続する場合としない場合に NetBackup 5240 Appliance で利用可能なフォーマット済みストレージ容量を示します。NetBackup 5240 Appliance のリリース 3.1 では、6 台の 2U12 ストレージシェルフをサポートするようになりました。

表 3-2 NetBackup 5240 Appliance バージョン 4.1 で利用可能なストレージ容量オプション

アプライアンスのみ	ストレージシェルフ	アプライアンスと 1 台のストレージシェルフ	アプライアンスと 2 台のストレージシェルフ	アプライアンスと 3 台のストレージシェルフ**	アプライアンスと 4 台のストレージシェルフ	アプライアンスと 5 台のストレージシェルフ***	アプライアンスと 6 台のストレージシェルフ
4 TB	49 TB	53 TB	102 TB	151 TB	200 TB	249 TB	298 TB
14 TB	49 TB	63 TB	112 TB	161 TB	210 TB	259 TB	308 TB
27 TB	49 TB	76 TB	125 TB	174 TB	174 TB	272 TB	321 TB

ストレージ容量について詳しくは、『NetBackup 5240 Appliance 製品説明』を参照してください。

NetBackup Appliance のハードウェアアーキテクチャについて詳しくは、『NetBackup Appliance と Veritas Storage Shelf の製品説明』を参照してください。

NetBackup 53xx のハードウェアの機能

このリリースでは、NetBackup 5330、5340、5350 Appliance をサポートします。

53xx Appliance は、メディアサーバーとしてのみ構成できます。

NetBackup 53xx Appliance には、以下の機能が搭載されています。

- メモリ
 - 5330 には、800 MHz で動作する 384 GB の RAM が搭載されています。
 - 5340 には、2666 MHz で動作する 768 GB の RAM が搭載されています。
 - 5350 には、2666 MHz で動作する 768 GB の RAM が搭載されています。
- 速度
 - 5330 には、通常 2.8 GHz、最大 3.1 GHz の 10 コアのプロセッサが搭載されています。
 - 5340 には、通常 2.0 GHz、最大 3.7 GHz の 20 コアのプロセッサが搭載されています。

5350 には、通常 2.0 GHz、最大 3.7 GHz の 20 コアのプロセッサが搭載されています。

- 動作電圧

5330 は 1.35 V で動作します。

5340 は 1.2 V で動作します。

5350 は 1.2 V で動作します。

- 耐性の高いストレージアーキテクチャ

NetBackup 53xx Appliance の冗長コンポーネントによって、アプライアンスはハードウェアコンポーネントでエラーが発生した場合でも生産性を維持できます。この機能によって、欠陥のある部品を交換するまで、ハードウェアの障害が操作に及ぼす影響を最小限に抑えることができます。

- ホットスワップ対応のコンポーネント

53xx の外部 RAID コントローラはホットスワップ対応のため、操作を中断することなく欠陥のあるコントローラを交換できます。

- 複数の冗長データパス

NetBackup 53xx は、すべての重要なストレージで冗長データパスを備えています。これによって、複数のコンポーネントエラーが発生した場合でも動作することができます。

NetBackup 5330 ハードウェアには、アプライアンスとプライマリストレージシェルフが備わっています。アプライアンスはストレージを備えていませんが、プライマリストレージシェルフと最大 5 台の拡張ストレージシェルフの空き領域をバックアップに使うことができます。プライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフは 3 TB または 6 TB のディスクドライブをサポートしますが、シェルフ内のすべてのドライブを同じ容量にする必要があります。次の表に、NetBackup 5330 Appliance システムで利用可能な、フォーマット済みストレージの容量を示します。

表 3-3 NetBackup 5330 Appliance のストレージオプション

ストレージオプション	プライマリストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	利用可能なストレージ容量
A	114 TB	-	-	-	-	-	114 TB
B	114 TB	114 TB	-	-	-	-	229 TB
C	114 TB	114 TB	114 TB	-	-	-	343 TB
D	114 TB	229 TB	-	-	-	-	343 TB
E	114 TB	229 TB	229 TB	229 TB		-	801 TB
F	114 TB	114 TB	229 TB	229 TB	229 TB	-	915 TB

ストレージオプション	プライマリストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	拡張ストレージシェルフ	利用可能なストレージ容量
G	114 TB	114 TB	114 TB	229 TB	229 TB	-	800 TB
H	114 TB	114 TB	229 TB	-	-	-	458 TB
I	114 TB	229 TB	229 TB	-	-	-	572 TB
J	229 TB	-	-	-	-	-	229 TB
K	229 TB	229 TB	-	-	-	-	458 TB
L	229 TB	229 TB	229 TB	-	-	-	687 TB
M	229 TB	229 TB	229 TB	229 TB	-	-	916 TB
N	229 TB	229 TB	229 TB	229 TB	229 TB	229 TB	1374 TB*

* システムで利用可能な合計ストレージ容量として 1,374 TB に対応している場合でも、MSDP データプールの利用可能な最大ストレージ容量は 960 TiB (1,056 TB) です。

NetBackup 5340 および 5350 Appliance のストレージ容量

5340 と 5350 計算ノードには、データを格納する内部ディスク容量はありません。代わりに、これらのモデルでは必須の Veritas 5U84 プライマリストレージシェルフをメインのデータストレージデバイスとして使用します。5U84 プライマリストレージシェルフは計算ノードに接続し、RAID 6 ドライブセットを使用して格納データを保護します。

追加のデータストレージ領域が必要な場合は、既存の 5U84 プライマリストレージシェルフに最大 3 台のオプションの Veritas 5U84 拡張ストレージシェルフを接続できます。5U84 拡張ストレージシェルフは、SAS3 データケーブルを使用して 5U84 プライマリストレージシェルフに接続します。シェルフを接続すると、5U84 拡張ストレージシェルフのディスクドライブの格納データが 5U84 プライマリストレージシェルフが制御する RAID 6 セットを使用して保護されます。

表 3-4 NetBackup 5340 および 5350 Appliance のディスクドライブ容量別のストレージオプション

利用可能なストレージ容量 (4 TB ドライブ)	利用可能なストレージ容量 (8 TB ドライブ)
120 TiB (132 TB)	240 TiB (264 TB)
240 TiB (264 TB)	480 TiB (528 TB)

利用可能なストレージ容量 (4 TB ドライブ)	利用可能なストレージ容量 (8 TB ドライブ)
360 TiB (396 TB)	720 TiB (792 TB)
480 TiB (528 TB)	960 TiB (1,056 TB)
600 TiB (660 TB)	1200 TiB (1,320 TB)
720 TiB (792 TB)	1440 TiB (1,583 TB)
840 TiB (924 TB)	1680 TiB (1,847 TB)
960 TiB (1,056 TB)	1920 TiB (2,111 TB)

詳しくは、『Veritas 5340 Appliance 製品説明ガイド』と『Veritas 5350 Appliance 製品説明ガイド』を参照してください。

NetBackup Appliance のハードウェアアーキテクチャについて詳しくは、『NetBackup Appliance と Veritas Storage Shelf の製品説明』を参照してください。

NetBackup 5330 アプライアンスのストレージシェルフについて

NetBackup 5330 Appliance は内蔵ストレージを装備していないため、以下の外部ストレージシェルフを使用する必要があります。

- プライマリストレージシェルフ
このストレージシェルフには RAID コントローラが搭載されており、5330 アプライアンスをインストールする場合に必要です。このユニットは、ファイバーチャネル (FC) ケーブルでアプライアンスに直接接続します。NetBackup 5330 システムには、1 台のプライマリストレージシェルフが必要です。
- 拡張ストレージシェルフ
このストレージシェルフはオプションで、プライマリストレージシェルフのみを搭載した最小構成システムのディスク容量を増やすために使用します。このシェルフは、SAS ケーブルで直接プライマリストレージシェルフに接続します。NetBackup 5330 システムでは、最大 5 台の拡張ストレージシェルフをサポートします。

メモ: プライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフは、NetBackup 52xx アプライアンスと互換性がありません。Veritas Storage Shelf は NetBackup 5330 または関連付けられたストレージシェルフのいずれとも互換性ありません。

NetBackup Appliance Web コンソールから NetBackup 5330 の初期構成を開始すると、[ストレージの概要 (Storage Overview)] ページが表示されます。このページによって、システムのハードウェア構成が示され、接続性や存在する可能性のあるディスクドライブの問題が特定されます。Veritas 初期構成に進む前に、特定されたすべての問題を修正することをお勧めします。

NetBackup Appliance シェルメニューから初期構成を実行する場合、Test hardware コマンドを手動で実行して接続性や存在する可能性のあるディスクドライブの問題を特定できます。

詳しくは『NetBackup Appliance Initial Configuration Guide』を参照してください。

5U84 ストレージシェルフについて

NetBackup 5340 と NetBackup 5350 計算ノードには、いずれの内部ストレージも装備されていません。どちらの構成でも、以下に示すように外部ストレージシェルフを使用します。

- **5U84 プライマリストレージシェルフ (必須)**
このシェルフは、計算ノードとオプションの拡張シェルフに直接接続します。
- **5U84 拡張ストレージシェルフ (オプション。最大 3 台のシェルフ)**
このシェルフはプライマリシェルフに直接接続します。

5U84 ストレージシェルフの機能は、以下のとおりです。

- ストレージシェルフは、C19 と C20 コネクタを使用して AC 220 V (20 A) で稼働する必要があります。
- ディスクドライブが設置されていないストレージシェルフの重量は、最大 61.65 kg (135.72 lbs) です。ディスクドライブは、ストレージシェルフとは別途出荷されます。シェルフをラックに取り付けてからディスクを取り付けます。
- レールの前面支柱の内側から背面支柱の内側までの長さは、713 mm から 884 mm (28 インチから 34.8 インチ) です。ラックにこの長さが収まることを確認します。その他に、電源ストリップ、電源コード、その他のケーブルを収めるスペースも確保してください。
- 必要に応じて、半分の容量のストレージシェルフを利用できます。利用可能なストレージ容量について詳しくは、『NetBackup 5340 Appliance 製品説明ガイド』および『NetBackup 5350 Appliance 製品説明ガイド』を参照してください。

NetBackup Appliance ハードウェアの比較

表 3-5では、NetBackup Appliance モデルの違いの概要を示します。

表 3-5 NetBackup 5350、5340、5330、5250、5240 Appliance の比較

パラメータ	NetBackup 5350	NetBackup 5340	NetBackup 5330	NetBackup 5250	NetBackup 5240
役割	メディアサーバーのみ	メディアサーバーのみ	メディアサーバーのみ	プライマリサーバーまたはメディアサーバー	プライマリサーバーまたはメディアサーバー
コア	52 (プロセッサあたり 26)	40 (プロセッサあたり 20)	20 (プロセッサあたり 10)	24 (プロセッサあたり 12)	V3 16 (プロセッサあたり 8) V4 20 (プロセッサあたり 10)
キャッシュ (cache)	71.5 MB (プロセッサあたり 35.75 MB) メモ: 2 つのプロセッサは計算ノードにインストールされます。	55 MB (27.5 MB/CPU)	50 MB (25 MB/CPU)	33 MB (16.5 MB/CPU)	V3 40 MB (20 MB/CPU) V4 50 MB (25 MB/CPU)
RAID キャッシュ	32 GB	32 GB	24 GB	1 GB (外部 PCIe RAID コントローラに 4 GB が含まれています)	1 GB
CPU 速度	2.1 GHz (ターボ: 4.00 GHz)	2.0 GHz	2.8 GHz	2.20 GHz	V3 2.4 GHz V4 2.2 GHz
ターボ速度	3.7 GHz	3.7 GHz	3.1 GHz	3.2 GHz	V3 3.2 GHz V4 3.1 GHz
QPI/UPI 速度	10.4 GT/秒	10.4 GT/秒	8 GT/秒	9.6 GT/秒	8 GT/秒

パラメータ	NetBackup 5350	NetBackup 5340	NetBackup 5330	NetBackup 5250	NetBackup 5240
システムメモリ**	768 GB	768 GB	384 GB	64 GB/256 GB/512 GB メモ: 1 台目の拡張ストレージシェルフを購入すると、ストレージシェルフに同梱されるストレージ拡張キットには、既存の 64 GB を置き換える 256 GB のメモリが含まれています。5 台目のシェルフを追加する場合は、追加の 256 GB のメモリキットが必要です。	64 GB メモ: 最初のストレージシェルフを購入すると、ストレージシェルフに同梱されるストレージ拡張には、追加の 64 GB メモリが含まれています。 最初のストレージシェルフとメモリを追加した後、追加の 64 GB メモリキットを購入して、アプライアンスのメモリを最大 192 GB まで増やすことができます。 メモ: 既存のメモリ構成 (32 GB x 8) の代わりとなる 256 GB キットも用意されています。
メモリ構成 ** (DIMM、特に明記されている場合を除く)	標準 (RDIMM): 64 GB x 12 RDIMM (768 GB) オプション: (RDIMM) 64 GB x 24 (1536 GB)	標準 (RDIMM): 32 GB x 24 (768 GB) オプション: (RDIMM) 64 GB x 24 (1536 GB)	標準: 16 GB x 24 オプション: 32 GB x 24 (768 GB)	8 GB x 8 (64 GB) 32 GB x 8 (256 GB) 32 GB x 16 (512 GB)	標準: 8 GB x 8 (64 GB) オプション: 8 GB x 16 (128 GB) 8 GB x 24 (192 GB) 32 GB x 8 (256 GB)
データ保持	スーパーキャパシタと 2 つの RAID コントローラそれぞれのフラッシュメモリ	スーパーキャパシタと 2 つの RAID コントローラそれぞれのフラッシュメモリ	RAID コントローラごとの 1 つのリチウムイオンバッテリーのバックアップユニットから NVRAM (システムにつき 2 個)	1 つの内部 RAID コントローラ用フラッシュメモリカード搭載 MFBU 最初のストレージシェルフ購入時に、1 つの外部 RAID コントローラ用フラッシュメモリカード搭載 MFBU	1 つの内部 RAID コントローラ用フラッシュメモリカード搭載 MFBU 最初のストレージシェルフ購入時に、1 つの外部 RAID コントローラ用フラッシュメモリカード搭載 MFBU

パラメータ	NetBackup 5350	NetBackup 5340	NetBackup 5330	NetBackup 5250	NetBackup 5240
PCI アドイン カードスロット	8	8	6	8	8
オンボード 10 Gb イーサネット ポート	0 (4 つのオンボード 1 GbE ポート)	0 (4 つのオンボード 1 GbE ポート)	2	2	2
PCI アセンブリ の 10 Gb イー サネットカード	最大 5 枚のカード (10 個のポート)	最大 5 枚のカード (10 個のポート)	最大 4 枚のカード (8 個のポート) *	最大 3 枚のカード (6 個のポート)	最大 3 枚のカード (6 個のポート)
PCI アセンブリ に追加の 1 Gb イーサネット カード	不可	不可	不可	最大 1 枚のカード (4 個のポート)	最大 1 枚のカード (4 個のポート)
PCI アセンブリ の SAS RAID カード	不可	不可	不可	メザニンカード: 可 PCIe RAID カー ド: 可	可 (最初のストレージ シェルフの購入時に 付属)
冗長外部スト レージベースの RAID コントロー ラ x 2	可	可	可	不可	不可
外部ストレージ	1 つの必須プライマリ ストレージシェルフと最大 3 つのオプションの拡張 ストレージシェルフ	1 つの必須プライ マリストレージシェ ルフと最大 3 つの オプションの拡張ス トレージシェルフ	1 つの必須プライ マリストレージシェ ルフと最大 5 つの オプションの拡張 ストレージシェルフ	最大 6 つのスト レージシェルフ	最大 6 つのストレ ージシェルフ
外部ストレージ を含む最大スト レージ容量**	1920 TB	1920 TB	1364 TB	429.4 TiB	201 TB
最大の外部スト レージでの標準 の消費電力	5800 W (3.0 W/TB)	5800 W (3.0 W/TB)	2442 W (1.79 W/TB)	1776 W (3.76 W/TB)	1140 W (5.6 W/TB)

* NetBackup 5330 Appliance には全構成の標準コンポーネントとして常に 2 つの 10Gb イーサネットポートが含まれます。

** 外部ストレージを使用したメモリ構成と最大ストレージ容量に関する重要な情報については、次のトピックを参照してください:
i. p.23 の「NetBackup Appliance のメモリ要件について」を参照してください。

NetBackup Appliance のメモリ要件について

NetBackup Appliance ソフトウェアバージョン 3.1 以降、MD5 から指紋認証プロセスの SHA-256 に移行することで MSDP のセキュリティ対策が改善されました。この変更により、大規模な重複排除プール構成でのメモリ消費の需要が増加しました。

次に、アプライアンスのメモリ占有域の要件に関するガイダンスを示します。MSDP で最適なパフォーマンスを実現するためには、これに従う必要があります。

- **NetBackup 5240**
150 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 192 GB 以上にアップグレードすることを強くお勧めします。
250 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 256 GB 以上にアップグレードすることを強くお勧めします。
256 GB のメモリアップグレードキットを購入可能です。これにより、アプライアンスに既存のすべての DIMM モジュールが置換されます。詳しくは、ベリタスの営業担当者までお問い合わせください。
- **NetBackup 5250**
150 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 192 GB 以上にアップグレードすることを強くお勧めします。
250 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 256 GB 以上にアップグレードすることを強くお勧めします。
325 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 512 GB 以上にアップグレードすることを強くお勧めします。
256 GB のメモリアップグレードキットは、リソース消費の多い高パフォーマンスの作業負荷の構成用にも購入できます。詳しくは、ベリタスの営業担当者までお問い合わせください。
- **NetBackup 5330**
458 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 768 GB にアップグレードすることを強くお勧めします。
- **NetBackup 5340**
960 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 1536 GB にアップグレードすることを強くお勧めします。
- **NetBackup 5350**
960 TB 以上の MSDP プールがあるすべてのストレージ構成では、メモリ容量を 1536 GB にアップグレードすることを強くお勧めします。

次を含む他の要因も、メモリ使用量の増加につながる可能性があります。

- 同時実行中のジョブ/ストリーム数の多さ
- 大規模な MSDP 指紋キャッシュ構成
- プライマリサーバーが担うスケジュール設定

NetBackup Appliance の互換性

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Appliance ソフトウェアのアップグレードについて](#)

NetBackup Appliance ソフトウェアのアップグレードについて

ソフトウェアの更新リリースが利用可能なときは、インストールして最新の製品機能と修正が確実に含まれるようにすることを推奨します。Veritas

アプライアンスソフトウェアをアップグレードするとき、更新リリースはオペレーティングシステム、NetBackup、すべてのアプライアンスインターフェースの更新バージョンをインストールすることがあります。すべてのサービスはアップグレードが始まると自動的に終了し、それからすべての更新が適用された後で自動的に再起動されます。

メモ: 現在、アプライアンスで 3.1.1 より前のバージョンを使用している場合、バージョン 4.1 にアップグレードするには 2 回アップグレードする必要があります。バージョン 3.1.1 にアップグレードしてから、バージョン 4.1 にアップグレードすることをお勧めします。

Veritas システム停止時間を最小化するため、アプライアンスのアップグレードは前もって計画することを推奨します。アップグレードについて詳しくは、『NetBackup Appliance アップグレードガイド』を参照してください。

操作上の注意事項

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup appliance 4.1 の運用上の注意について](#)
- [NetBackup Appliance 4.1 の新しい運用上の注意](#)
- [アップグレードとロールバックの注意](#)
- [NetBackup Appliance の一般的な注意](#)
- [NetBackup Appliance ユーザーインターフェースの注意](#)
- [インストールと構成の注意](#)
- [高可用性に関する注意事項](#)
- [NetBackup サポートユーティリティについて](#)
- [NetBackup appliance のログファイルについて](#)

NetBackup appliance 4.1 の運用上の注意について

この章では、NetBackup Appliance 4.1 の運用上、付属マニュアルの他の箇所では文書化されない可能性のある重要な点について説明します。この文書はベリタスのサポート Web サイトで公開されたもので、の GA リリース後更新される場合があります。

VeritasNetBackup appliance4.1したがって、Veritasでは、マニュアルの更新のためにこの Web サイトを定期的に確認することをお勧めします。

NetBackup Appliance 4.1 には NetBackup 9.1 ソフトウェアをインストールするため、NetBackup 9.1 に適用される操作上の注意は、NetBackup appliance 4.1 にも当てはまります。NetBackup の操作上の注意について詳しくは、Veritasサポート Web サイトで『NetBackup 9.1 リリースノート』を参照してください。

NetBackup Appliance 4.1 の新しい運用上の注意

このトピックでは、このリリースの既知の問題について説明します。ここに記載されている問題の一部は、以前のリリースの公開後に発見されたため以前のリリースにもあてはまる可能性があります。

- Show コマンドの出力にファイバーチャネル HBA イニシエータポートが表示されない
 Main > Manage > FibreChannel > Show コマンドを実行するとき、特に AIX イニシエータポートに関して、出力にすべてのリモートイニシエータポートが表示されない場合があります。別の時間にコマンドを実行して、リモートイニシエータポートを含む予想される結果を確認できます。この問題は FC の機能に影響しません。
- ファイバーチャネル HBA ポートが構成後すぐに表示されない
 FTMS ターゲットまたは MSDP ターゲット用に FC HBA ポートを構成した後、ポートの状態はゾーンの状態によって最大 1 時間は[不明 (Unknown)]から[オンライン (Online)]に変更されない場合があります。ターゲットポートが共有するゾーンが多いほど、プロセスがポートの状態を更新する時間は増えます。影響を受けるポートの状態が[オンライン (Online)]に変更されるまで SAN クライアントジョブを開始しないでください。
- ファイバーチャネル HBA スキャンがハングアップする
 Main > Manage > FibreChannel > Scan コマンドを実行する際、HBA ポートが IO 操作に応答しない場合、プロセスがハングアップする可能性があります。この問題を回避するには、IPMI コンソールから[リモート制御 (Remote Control)]、[サーバー電源管理 (Server Power Control)]、[サーバーのリセット (Reset server)]の順にアプライアンスを再ブートします。再ブート後も問題が解決しない場合は、ベリタスのサポートに問い合わせて HBA カードの交換を依頼してください。
- STIG が有効なアプライアンスでのアップグレード後にカスタマイズされた STIG ログインバナーが保持されない
 STIG が有効で、アップグレード前にログインバナーをカスタマイズした場合、ログインバナーはアップグレード後にデフォルトの STIG ログインバナーにリセットされます。この問題を解決するには、カスタマイズされた STIG ログインバナーを手動で再構成する必要があります。
- HA ノードを同時に再ブートすると、MSDP サービスとインスタントアクセスサービスがオフラインのままになる
 両方の HA ノードを同時に再ブートすると、各ノードの再ブートプロセスのタイミングによって、プロセスが適切なサービスを起動しようとするときに競合が引き起こされる可能性があります。その結果、MSDP サービスとインスタントアクセスサービスがオフラインのままになる可能性があります。スタートアッププロセスのハングアップなど、他の問題も発生することがあります。この問題を解決するには、アプライアンスシェルメニューにログインし、Main > HighAvailability > Autofix コマンドを実行します。

- ECA が NetBackup Appliance で有効で、NetBackup で無効な場合、インスタントアクセス (IA) 作業負荷が失敗する
ECA が NetBackup Appliance で有効で、NetBackup で無効な場合、MSDP サーバーで NGINX にアクセスしようとする IA 作業負荷が失敗します。この問題を解決するには、Settings > Security > Certificate > Import コマンドを使用してアプライアンスに ECA 証明書を再インポートします。Import コマンドは、NetBackup 層と NetBackup Appliance 層に同じ ECA を登録して有効にします。

アップグレードとロールバックの注意

次のリストに、アップグレードとロールバックに関する注意事項と既知の問題を示します。

- アップグレード後にテスト電子メールの通知が断続的になる
バージョン 4.0 以降にアップグレードした後、テスト電子メールが失敗する場合があります。この問題を回避するには、すべての SMTP サーバーの構成情報を削除してから、すべての情報を再入力します。

NetBackup Appliance の一般的な注意

次のリストに、NetBackup Appliance の一般的な使用に関する注意事項と既知の問題を示します。

- 52xx ストレージシェルフが NetBackup Appliance Web コンソールまたは NetBackup Appliance シェルメニューに表示される順序は、それぞれの環境の実際の順序およびレイアウトと異なることがあります。ストレージシェルフの順序は、左ペインの[監視 (Monitor)]、[ハードウェア (Hardware)]タブに、[NetBackup StorageShelf 1]、[NetBackup StorageShelf2] のように表示されます。同様に、ストレージシェルフの順序は、Monitor > Hardware > ShowHealth コマンドを実行すると NetBackup Appliance シェルメニューに表示されます。
- メインボードの RAID コントローラを 52xx Appliance から取りはずした場合に [監視 (Monitor)]、[ハードウェア (Hardware)]、[アダプタ (Adapter)]タブの順にクリックするか、Monitor > Hardware ShowHealth Appliance Adapter コマンドを実行すると、NetBackup Appliance Web コンソールまたは NetBackup Appliance シェルメニューに古いデータが表示されることがあります。
- 5240 アプライアンスの RAID 1 ボリュームにディスクが見つからず、Monitor > Hardware ShowHealth Appliance RAID コマンドを実行する場合、見つからないディスクの場所が誤ってスロット 0 と表示されます。
5240 アプライアンスで [監視 (Monitor)] > [ハードウェア (Hardware)] > [RAID] に移動するときに NetBackup Appliance Web コンソールで同じ動作が観察されます。この問題は、5240 アプライアンスに当てはまり、アプライアンスの RAID 1 ボリューム上のディスクが見つからない場合に観察されます。

- Veritas Storage Shelf を NetBackup 52xx Appliance に接続した場合、ストレージシェルフをオンにすると、ストレージシェルフの各ストレージディスクごとに AutoSupport 警告 (UMI コード V-475-100-1004) が生成されます。次のメッセージが表示されます。
「外部構成をインポートするか、ディスクを消去することができます。」
これらの警告は無視しても問題ありません。
初期構成中にストレージシェルフを接続した場合、初期構成が完了すると警告は消えます。
初期構成後にストレージシェルフを接続した場合、インストール手順の中でストレージスキャンを実行すると警告は消えます。NetBackup Appliance Web コンソールと NetBackup Appliance シェルメニューは、インストールの完了後、約 5 分間、ストレージシェルフの誤ったデータを表示することがあります。
ストレージシェルフのインストールについて詳しくは、『NetBackup Appliance ハードウェア取り付けガイド』を参照してください。
- ログインバナーの見出しまたはログインバナーのメッセージの 1 行に ERROR: というテキストのみが含まれる場合は、アプライアンスのセルフテストが失敗します。
- NetBackup 5330 Appliance では、LUN オーナーシップを 1 つのコントローラから別のコントローラにフェールオーバーするときに優先パスエラーが起きる場合があります。1 つのコントローラが他のコントローラをリセットして、それが原因で優先パスエラーが起きる場合があります。このエラーが起きると、アプライアンスハードウェア監視の [ストレージステータス (Storage Status)] に [最適でない (Not Optimal)] と表示されます。このエラーは解消されるまでに数週間続く場合があります。
このエラーが解消されない場合は、すべてのパスがエラーになり、影響を受けるコントローラがオフラインになり、その結果、冗長性とパフォーマンスが低下します。この問題が起きた場合は、ベリタスのサポートに連絡して、担当者に TECH225558 を参照するように伝えてください。Veritas
- Windows 7/8.1 クライアントはアプライアンスの CIFS 共有に自動的にアクセスできません。この問題を回避するには、クライアントの Windows コマンドプロンプトで次のコマンドを実行します。
`net use /user:admin ¥¥appliance-name *.appliance-name` はアプライアンスの完全修飾ドメイン名 (FQDN) です。
メッセージが表示されたら、プロンプトでアプライアンス管理者のパスワードを入力します。
このコマンドを実行すると、クライアントは CIFS 共有にアクセスできます。
- NetBackup Appliance のこのリリースでは、アプライアンスをバックアップホストまたはリカバリホストとして使った場合は、Replication Director (RD) リストアで動的マルチパス (DMP) がサポートされません。
- 出荷時の設定へのリセット中、次のメッセージが表示される場合の手順を示します。
RESET STORAGE CONFIGURATION and BACKUP DATA [Optional]

[いいえ (no)]を選択すると、ストレージ関連の構成は保持されます。出荷時の設定へのリセット後、最初の構成で **Advanced Disk** と **MSDP** のサイズを 0 に設定していないことを確認します。指定した場合、役割の構成は失敗します。

メモ: **AdvancedDisk** および **MSDP** パーティションのサイズが出荷時の設定へのリセット前に 0 に設定されていた場合、最初の構成の実行時 0 のままにできます。

- ソフトウェアバージョンが **3.1.2** 以降のアプライアンス上で **16 Gb** ファイバーチャネルカードを構成する場合、**2 つの 16 Gb** ファイバーチャネルカードを直接接続しないでください。**2 つの 16 Gb** ファイバーチャネルカード間の直接接続により、**HBA** リンクがターゲットポートでダウンします。この問題を回避するには、**2 つの 16 Gb** ファイバーチャネル **HBA** カード間にスイッチを経由して常に **HBA** リンクを構築してください。
- ソフトウェアバージョン **3.1.2** 以降にアップデートされたアプライアンスで **8 Gb FC** カードを **16 Gb FC** カードに置き換えた後、**NetBackup Appliance** シェルメニューでコマンド `Manage > FibreChannel > Show` を実行すると、「ファイバートランスポート重複排除の状態」が正しく表示されないことがあります。インフラサービスを再開して「ファイバートランスポート重複排除の状態」を更新するには、次のコマンドを実行します。

```
Support > InfraServices Stop
Support > InfraServices Start
Manage > FibreChannel > Show
```
- リリース **3.1.1** 以降では、アップグレードするアプライアンスで **IPSec** 機能を設定している場合、アップグレードの完了後に **IPsec** 証明書が保持されない可能性があります。この問題を回避するには、アプライアンスをアップグレードする前に **IPsec** 証明書をエクスポートする必要があります。詳しくは、『**Veritas NetBackup Appliance** アップグレードガイド』を参照してください。
- アプライアンスに共有が構成されていて、ユーザーが作成したチェックポイントにロールバックすると、ロールバックの完了後に共有の一部のチューニングパラメータが失われることがあります。この問題は、再び共有の使用を開始したときに、アプライアンスのパフォーマンスに影響する可能性があります。この問題を解決するには、ベリタスのサポートに連絡し、詳細として記事 **100047636** を参照するように依頼してください。
- バックアップ中にアプライアンスを再ブートすると、**SAN** クライアント、ファイバートランスポート、テープデバイスの問題が発生する
 バックアップジョブの進行中にアプライアンスのメディアサーバーアプライアンスを再ブートすると、再ブートの完了後に次の問題が発生する場合があります。
 - **SAN** クライアントのバックアップが失敗する。
 - ファイバートランスポート (FT) を使用したバックアップジョブが失敗する。

- リモートテープデバイスが使用不能になる。
これらの問題を解決するには、次のいずれかを実行します。
- **NetBackup Java** コンソールにログインして、[メディアおよびデバイスの管理 (Media and Device Management)]、[デバイス (Devices)]、[SAN クライアント (SAN Clients)]の順に移動し、影響を受ける各 SAN クライアントを選択してファイバーチャネル (FC) の再スキャンをトリガします。
- **NetBackup CLI** ユーザーとしてアプライアンスメディアサーバーにログインし、次のコマンドを実行します。

```
/usr/opensv/netbackup/bin/admincmd/nbftconfig -rescanallclients
```

NetBackup Appliance ユーザーインターフェースの注意

次のリストに、NetBackup Appliance Web コンソールと NetBackup Appliance シェルメニューに関する注意事項および既知の問題を示します。

- **NetBackup Appliance Web** コンソールのホームページにハードウェアエラーが表示されていても、[監視 (Monitor)] > [ハードウェア (Hardware)] ページにエラーが表示されていない場合、NetBackup Appliance シェルメニューで現在の状態を確認してください。[監視 (Monitor)] > [ハードウェア (Hardware)] ページにシェルメニューで利用できる情報の一部が含まれない場合があります。
- アプライアンスに NetBackup クライアントのアドオンパッケージをインストールすると、NetBackup Appliance Web コンソールには不正な[アップグレード後のバージョン (Version after upgrade)]が表示されます。クライアントパッケージのインストールはアプライアンスのソフトウェアバージョンに影響しません。ただし、Web コンソールは NetBackup バージョンをアップグレード後のバージョンで表示します。
- 次のシナリオにあるように、Active Directory (AD) ユーザー名の機能に一貫性がありません。
 - **NetBackup Appliance Web** コンソール および **NetBackup Appliance** シェルメニュー
これらのインターフェースは、Active Directory (AD) のユーザー名の太文字と小文字を区別しません。
 - **NetBackup Java** コンソール
このインターフェースは、Active Directory (AD) のユーザー名の太文字と小文字を区別します。すべて小文字でユーザー名を入力した場合、NetBackup 管理者のコンソールへのアクセスが許可されます。すべて太文字でユーザー名を入力した場合、NetBackup のバックアップ、アーカイブ、復元インターフェースへのアクセスが許可されます。

- **NetBackup Appliance** シェルメニューのコマンド `Main > Settings > Security > Authentication > LDAP > Certificate set path name` では、ハイフンが含まれるパス名は使用できません。ハイフンが含まれるパス名は、**NetBackup Appliance Web** コンソールで受け入れられます。
- アプライアンスがプロビジョニングされていない場合は、**NetBackup Appliance Web** コンソールランディングページに次の通知が表示されます。
コールホームサービスが機能していません。コールホームサーバーでシステムがプロビジョニングされたかどうか確認するには、ベリタステクニカルサポートにご連絡ください。(Call Home service is not functional. Please contact Veritas Technical Support to verify if the system has been provisioned on Call Home server.)
ただし、この通知は表示されない場合もあります。アプライアンスの日付と時刻がネットワークタイムプロトコル (NTP) ごとに設定されていない場合は、ランディングページには日付と時刻を更新するための通知のみが表示されます。NTP ごとに日付と時刻を設定すると、コールホーム通知が表示されます。
- **Veritas Remote Manager** からアラートの構成はサポートされません。アラートの構成は、**NetBackup Appliance Web** コンソールの[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]>[アラートの構成 (Alert configuration)]メニュー、または **NetBackup Appliance** シェルメニューの `Settings > Alerts` コマンドビューからサポートされます。詳しくは、[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]>[アラートの構成 (Alert configuration)] セクションを『**NetBackup Appliance** 管理者ガイド』で参照するか、`Main > Settings > Alerts` ビューコマンドのセクションを『**NetBackup Appliance** コマンドリファレンスガイド』で参照してください。
- ソフトウェアバージョン 3.2 以降へのアップグレード後、**NetBackup CLI** ユーザーがアプライアンスにログインできないことがあります。この問題を解決するには、管理者としてアプライアンスにログインし、次のコマンドを実行します。
`Support > Service Restart nbapp-nbcli`
- **AMS (Appliance Management Server)** バージョン 1.3 と 1.4 では、現在、**5250 Appliance** に接続されている外部ストレージシェルフの詳細が[概要 (Overview)]タブに表示されません。今後の **AMS** のリリースで、この問題の修正を予定しています。
- ストレージシェルフの接続と **NetBackup 5250** の ID 番号
NetBackup Appliance シェルメニューでは、ストレージシェルフのケーブル接続と ID 番号について誤った情報が表示されることがあります。次に、コマンド、出力メッセージ、表示されるエラーについて説明します。
`Monitor Hardware > ShowErrors`
[失敗。接続が検出されませんでした。(Failed. No Connection(s) Detected.)]
`Monitor > Hardware > ShowHealth > StorageShelf Connection`
[切断 | エラー (Disconnected | ERROR)]が断続的に表示される場合があります。
`Support > ShelfOrdering > Show`
一部のストレージシェルフに対して誤った ID 番号が表示されることがあります。

これらは誤ったレポートであり、アプライアンスの操作には影響しません。これらの問題に対する UMI メッセージのアラートは抑制されています。今後のアプライアンスのリリースで、これらの問題の修正を予定しています。

- 現在、NetBackup Appliance Web コンソールのハードウェア監視の[アダプタ (Adapter)]ページでは、5250 Appliance の[ID]と[Status (状態)]の列についてのみ正確な情報が表示されます。アダプタの状態の完全な情報を確認するには、NetBackup Appliance シェルメニューにログインして、次のコマンドを入力します。

Main > Monitor > Hardware > ShowHealth > Adapter

今後のアプライアンスのリリースで、この問題の修正を予定しています。

- 5250 Appliance で Support> Test Software コマンドを実行すると、次のようなメッセージが出力されます。

Checking whether registration information is properly set ... [WARNING]

このコマンドでは、アプライアンスの登録情報を取得できません。アプライアンスの登録情報を確認、検証するには、マイアプライアンスポータルにアクセスします。このチェックは、今後のリリースのコマンドから削除されます。

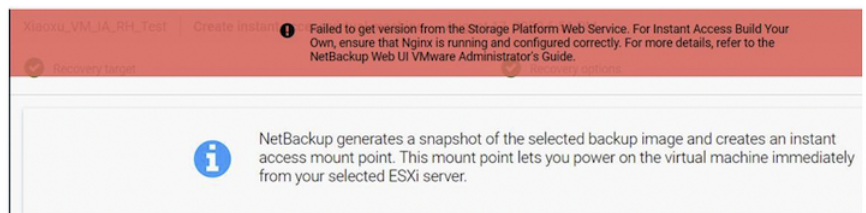
- QLogic QLE8442 カードを搭載していない NetBackup Appliance 5240 モデルで Support > Collect Inventory コマンドを実行しようすると失敗します。I/O 構成 H のモデル 5240 は iSCSI 対応ではないため除外されます。コマンド出力結果とともに対応するエラーメッセージが表示されますが、SFP アラートを処理する EthTool プラグインを除き、基盤となるハードウェア監視は引き続き機能します。
- ソフトウェアバージョン 3.2 以降のアプライアンスで次のいずれかのアプライアンスコマンドを実行すると、コマンドが期待どおりに応答せず、ハングアップしているように見えることがあります。

- Manage > FibreChannel > Clean

- Manage > FibreChannel > Show

この問題を解決するには、アプライアンスを再ブートして、再度コマンドを実行します。問題が解決しない場合は、ベリタスのサポートに連絡して、記事 100047385 を参照するようにサポート担当者に伝えます。

- インスタントアクセス (IA) 操作中の NetBackup Web UI エラー
IA 操作の実行中に、次のエラーメッセージが表示されることがあります:



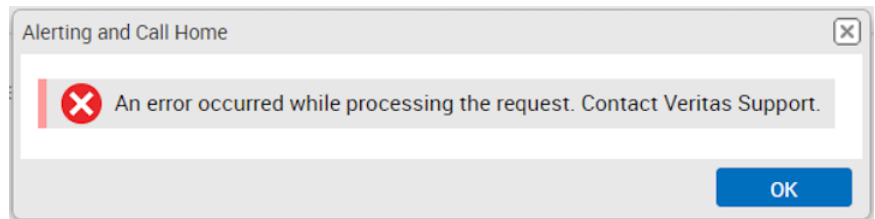
この問題は、次のいずれかの場合に発生することがあります。

- 初期構成の処理中に、バージョン 3.3.0.1 のアプライアンスが HA ノードとして構成されたが、MSDP パーティションは構成されなかった。
- HA ノードがバージョン 3.1 から 3.1.2、3.1.2 から 3.2、3.2 から 3.3.0.1 の順にアップグレードされた。

この問題を解決するには、次の記事を参照してください。

https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100048389

- プロキシサーバーの構成によって通知の設定への変更が阻止される (ソフトウェアバージョン 4.1 以前)
Veritas AutoSupport サーバーにアクセスするようにプロキシサーバーを構成している場合、Appliance Web コンソールを使用して[通知の設定 (Notification Settings)]を変更しようとする、次のエラーメッセージが表示されることがあります。



この問題を解決するには、ベリタスのサポートに連絡し、詳細として記事番号 100049271 を参照するように依頼してください。

インストールと構成の注意

次のリストに、アプライアンスのインストールと構成に関する注意事項と既知の問題を示します。

- **NetBackup 5330 Appliance** にプライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフが含まれ、拡張シェルフに RAID ボリュームが設定されている場合は、アプライアンスのセットアップから拡張ストレージシェルフを削除しないでください。拡張シェルフを削除すると、プライマリシェルフは拡張シェルフが電源オフになったかのように動作し、エラーが発生します。拡張シェルフを削除する必要がある場合は、セットアップから拡張シェルフを削除する前に Support > RAID Clear コマンドを実行する必要があります。

警告: Support > RAID Clear コマンドにより、両方のストレージシェルフからすべてのデータが削除されます。このコマンドを実行する前に、必ず他の場所にデータを保存してください。

- 共有ディレクトリにソフトウェアの更新をコピーする場合は、コピーが完了するまでは他のコマンドを開始しないでください。コピー処理中にコマンドを実行すると、ソフトウェアの更新がリストに登録され利用可能になったことが表示される場合があります。ただし、そのソフトウェアの更新をインストールすると失敗する場合があります。
- メディアサーバーの初回構成時に「ライセンスがありません」というメッセージを受信した場合は、この電子メールを無視しても安全です。この電子メールはホスト名の構成時に送信されます。新しいホスト名への変更時にライセンスキーファイルの名前が変更され、警告機構で一時的にライセンスを特定できなくなります。構成が完了すると、ライセンスは正しく設定されます。ライセンスキーは、**NetBackup Appliance Web** コンソールの[管理 (Manage)]>[ライセンス (License)] ページまたは **NetBackup Appliance** シェルメニューの Main > Manage > License > List コマンドで確認できます。
- iSCSI は IPv4 アドレスのみをサポートします。IPv6 を介した iSCSI 接続はサポートされません。さらに、イニシエータとターゲットは同じレイヤ 2 (L2) ネットワーク上にある必要があります。
- 10 Gb イーサネット/iSCSI カードでは、QLogic SFP+ (Small Form-Factor Pluggable) モジュールのみがサポートされます。この要件は **NetBackup 5240 Appliance** の構成 H に適用されます。**NetBackup 5340 Appliance** の構成 A、B、C、D、および E でも、iSCSI をサポートします。
- VLAN は、ネットワークインターフェースまたは iSCSI インターフェースのいずれかで構成できます。VLAN をネットワークと iSCSI インターフェースの両方で構成すると、ネットワークインターフェースの VLAN が両方のインターフェースで有効になります。VLAN が異なるサブネットでネットワークと iSCSI インターフェースの両方で構成されている場合、その構成はサポートされないことに注意してください。

ネットワークインターフェース		iSCSI インターフェース		説明
IP	VLAN	IP	VLAN	
サブネット X	なし	サブネット X	なし	サポート対象
サブネット X	なし	サブネット Y	VLAN A	サポート対象
サブネット X	VLAN B	サブネット X	VLAN B	サポート対象
サブネット X	VLAN B	サブネット Y	VLAN B	サポート対象外

- 2 つの iSCSI インターフェースで iSNS を使用してターゲットが検出された場合、Target Show All コマンドで表示されるのは最新レコードのみです。たとえば、Target Discover iSNS コマンドを *iscsi1* で実行した後に *iscsi2* で実行した場合、一部のターゲットでは、Target Show All コマンドの出力の[インターフェース (Interfaces)] 列に両方のインターフェース (*iscsi1*、*iscsi2*) が表示されない場合があ

ります。一部のターゲットに対しては、直近のコマンドからのインターフェースのみが表示されます (この場合は *iscsi2*)。

- iSCSI インターフェース上でワークロードが稼働中の場合は、`iSCSI> Target Disconnect` コマンドの完了までの時間が長くなります。

NetBackup Appliance シェルメニューには次のようなメッセージが表示される場合があります。

```
Message from syslogd@host at Sep 12 10:09:14 ...
iscsid:
Message from syslogd@host at Sep 12 10:13:27 ...
iscsid:
Message from syslogd@host at Sep 12 10:17:53 ...
iscsid:
```

これらのメッセージは、**NetBackup Appliance** シェルメニューに異なるタイミングで表示される場合があります。これらは、**iSCSI** コマンドを実行しているとき、コマンド出力の途中、またはコンソールがアイドル状態のときにも表示されます。これらのメッセージは無害で無視できます。

- ターゲットデバイスで **CHAP** 認証を有効にして、**iSNS** を使用してターゲットを検出するとき、`iSCSI > Target Discover` コマンドを使用してもターゲットのクレデンシャルの入力が求められない場合もあります。
- バージョン **3.2** 以降のアプライアンスの初期構成時に役割の構成を実行すると、一部の **MSDP** パラメータの設定が変更されます。ただし、初期構成の完了後に新しい設定が自動的に適用されることはありません。この問題を解決して新しい **MSDP** パラメータの設定を有効にするには、**NetBackup** サービスを手動で再起動する必要があります。

詳しくは、次の記事を参照してください。

https://www.veritas.com/support/en_US/article.100047662

高可用性に関する注意事項

次に、高可用性設定の注意事項と既知の問題について説明します。

- 高可用性 (HA) の配備
お客様が新しい **NetBackup Appliance HA** インストールを配備できるように、ベリタスでは関連する問題に対処するものを含む、さまざまな文書へのリンク付きのチェックリストを作成しました。詳しくは、次の記事を参照してください。
https://www.veritas.com/support/en_US/article.100043658.html
- 計算ノードで **HA** 設定を構成する際にプロセスが失敗すると、エラーメッセージが表示されるまでに最大 1 時間かかることがあります。

- バージョン 3.2 以降にアップグレードされた既存のアプライアンスの計算ノードで HA 設定を作成し、新しい 3.2 以降のバージョンのアプライアンスであるパートナーノードを追加しようとすると、プロセスが失敗し、次のメッセージが表示されることがあります。

```
- [Error] V-409-955-2025:
```

```
The User ID/Group ID (uid/gid) for the mongod user on the partner
node
is different from the uid/gid for the mongod user on the active
node.
Refer to Veritas article 100046013.
```

この問題を解決するには、ベリタスのサポートにお問い合わせください。

- パートナーノードを追加してアプライアンスの HA 設定を完了する前に、まずすべての NetBackup プロセスがプライマリサーバーと両方の HA ノードで実行されていることを確認する必要があります。
プライマリサーバーまたはノードでプロセスが実行されていない場合、パートナーノードを追加できません。このエラーを防ぐには、すべての NetBackup プロセスを停止してから、再起動する必要があります。詳しくは、『NetBackup 53xx Appliance 初期構成ガイド』のトピック「NetBackup 53xx 高可用性構成へのパートナーノードの追加」を参照してください。

NetBackup サポートユーティリティについて

NetBackup appliance には、NetBackup の問題の診断に役立つ次のサポートユーティリティが用意されています。

- 「[NBDNA \(NetBackup Domain Network Analyzer\)](#)」
- 「[NetBackup サポートユーティリティ \(NBSU\)](#)」

NBDNA (NetBackup Domain Network Analyzer)

NetBackup appliance で NBDNA ユーティリティを実行すると、次のタスクを実行できます。

- ネットワーク関連の問題を解決するために NetBackup ドメイン構成を識別する
- NetBackup パフォーマンスの問題を特定する
- ホスト名のルックアップ動作が機能するかどうかを確認する
- NetBackup ドメイン内での役割に基づき、NetBackup ホストとアプライアンス間の接続が確立され、機能するかどうかを確認する
- Veritas テクニカルサポートに提出するレポートを生成する

NBDNA ユーティリティで次の種類の情報を出力します。

Running audit as Media Server.

```
Collection Version: x.x
  Collection Time: Tuesday, October 7, 2010 at 19:17:11 PM
    NBU Release: NetBackup-RedHat2.6.18 7.7.1
    NBU Version: 7.7.1
  NBU Major Version: 7
  NBU Minor Version: 7
  NBU Release Update: 1
    NBU Patch Type: Release Update
  NBU GlobDB Host: "host name"
    Is GlobDB HOST? No
      UNAME:
        Hostname: sample.name.veritas.com
  Host's Platform: Linux
  Perl Architecture: Linux
```

Initialization completed in 14.040101 seconds.

Brief Description of What It Does (for type 1):

- ```

1) Perform basic self checks.
2) Check connectivity to Primary (and EMM) server.
3) If SSO configured, get list of media servers sharing devices.
4) Get list of all clients which could send data here for backup.
5) Test NBU ports for basic connectivity between media servers
 sharing devices.
6) Test NBU ports for basic connectivity between media server and
 clients it backs up.
7) Perform service level tests for phase 2
8) Capture data for reports; save reports.
9) Save data to report files.

```

Discovering and mapping the NetBackup domain network for analysis  
 by extracting data from current system's configuration.  
 (To see more details, consider using '-verbose' switch.)

Probing Completed in 2.867581 seconds.

```
Initiating tests...
```

```
COMPLETED. Thank you for your patience.
```

```
/log/dna/sample.name.veritas.com.NBDNA.20100907.191711.zip
Archive created successfully!
Return /log/dna/sample.name.veritas.com.NBDNA.20100907.191711.zip
to Veritas Support upon request.
```

## NetBackup サポートユーティリティ (NBSU)

NBSU ユーティリティを使用すると、NetBackup とオペレーティングシステムに関する適切な診断情報を収集できます。

NetBackup サポートユーティリティ (NBSU) は Veritas 社のユーティリティで、ユーティリティを実行するシステムの診断情報を収集するために使用します。デフォルトでは、NBSU はオペレーティングシステムと NetBackup 環境に基づいて適切な診断情報を収集します。

Support > NBSU コマンドを使用して NBSU ユーティリティが使用する NetBackup 構成サポートファイルを作成または削除できます。

詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

## その他の利用可能なサポートについて

NetBackup Appliance の追加のサポートが必要になった場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。現在有効なサポートについての同意事項をお持ちのお客様は、次の URL でテクニカルサポートにアクセスできます。

[www.veritas.com/support/](http://www.veritas.com/support/)

NetBackup Appliance 固有の情報については、[NetBackup Appliance サポートページ](#)を参照してください。

## NetBackup appliance のログファイルについて

ログファイルは、アプライアンスで発生する可能性がある問題の特定と解決に役立ちます。

NetBackup appliance では、ハードウェア、ソフトウェア、システム、パフォーマンス関連のデータを取得できます。ログファイルは、アプライアンス操作などの情報、未構成ボリュームまたはアレイなどの問題、温度またはバッテリーに関する問題、およびその他の詳細を取得します。

表 5-1 で、アプライアンスのログファイルにアクセスするために使用できる方法を説明します。

表 5-1 ログファイルの表示

| 開始                            | アクセス方法                                                                                                        | ログの詳細                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NetBackup Appliance Web コンソール | NetBackup Appliance Web コンソールの [モニター (Monitor)] > [SDCS 監査ビュー (SCSP Audit View)] 画面を使用して、アプライアンスの監査ログを取得できます。 | アプライアンスの監査ログ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| NetBackup Appliance シェルメニュー   | Main > Support > Logs > Browse コマンドを使用して LOGROOT/> プロンプトを開きます。ls や cd コマンドを使用して、アプライアンスのログディレクトリを走査できます。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Appliance の構成ログ</li> <li>■ Appliance のコマンドログ</li> <li>■ Appliance のデバッグログ</li> <li>■ NetBackup ログ、Volume Manager ログ、openv ディレクトリに含まれている NetBackup ログ</li> <li>■ Appliance のオペレーティングシステム (OS) インストールログ</li> <li>■ NetBackup 管理 Web ユーザーインターフェースログと NetBackup Web サーバーログ</li> <li>■ NetBackup 52xx Appliance のデバイスログ</li> </ul> |

| 開始                          | アクセス方法                                                                                                                                                                              | ログの詳細                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NetBackup Appliance シェルメニュー | Main > Support > Logs > VxLogView Module <i>ModuleName</i> コマンドを実行して、Appliance VxUL (統合) ログにアクセスできます。Main > Support > Share Open コマンドを実行し、デスクトップを使用して VxUL ログのマップ、共有、コピーを行うこともできます。 | <p>Appliance 統合ログ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ All</li> <li>■ CallHome</li> <li>■ Checkpoint</li> <li>■ Commands</li> <li>■ Common</li> <li>■ Config</li> <li>■ CrossHost</li> <li>■ Database</li> <li>■ Hardware</li> <li>■ HWMonitor</li> <li>■ Network</li> <li>■ RAID</li> <li>■ Seeding</li> <li>■ SelfTest</li> <li>■ Storage</li> <li>■ SWUpdate</li> <li>■ Trace</li> <li>■ FTMS</li> <li>■ FTDedupTarget</li> <li>■ TaskService</li> <li>■ AuthService</li> </ul> |
| NetBackup Appliance シェルメニュー | Main > Support > DataCollect コマンドを実行して、ストレージデバイスログを収集できます。                                                                                                                          | Appliance ストレージデバイスログ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| NetBackup Java アプリケーション     | NetBackup Java アプリケーションに関する問題が発生した場合、このセクションのスクリプトを使って、サポートに連絡するために必要な情報を集めることができます。                                                                                                | NetBackup Java アプリケーションに関するログ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

# リリース内容

この付録では以下の項目について説明しています。

- [現在のリリース内容について](#)
- [NetBackup Appliance のセキュリティリリース内容](#)

## 現在のリリース内容について

このリリースでは、NetBackup Appliance ソフトウェアに存在するいくつかの既知の問題を修正しています。

---

**メモ:** この章では、NetBackup Appliance 限定の修正のみを説明します。NetBackup Appliance 4.1 リリースには、NetBackup の 9.1 に含まれるすべての修正も含まれます。NetBackup 9.1 の修正の詳細なリストについては、Veritas のサポート Web サイトにある『NetBackup 9.1 リリースノート』を参照してください。

---

アプライアンスのリリース時、NetBackup の最新版がアプライアンスのコード構築基盤として使われます。それによって NetBackup 内でリリースされたすべての適用可能な機能、拡張機能、修正がアプライアンスの最新リリースに確実に含まれることになります。

NetBackup ソフトウェアバージョン 9.1 は NetBackup appliance 4.1 のリリースに付属しています。NetBackup の新しい機能、拡張および修正については、Veritas のサポート Web サイトの文書『NetBackup リリースノート』に記載しています。9.19.1Veritas

[https://www.veritas.com/support/en\\_US/article.100040135](https://www.veritas.com/support/en_US/article.100040135)

次のリンクをクリックすると、NetBackup Appliance と NetBackup の最新の互換性リストにアクセスできます。

[www.netbackup.com/compatibility](http://www.netbackup.com/compatibility)

# NetBackup Appliance のセキュリティリリース内容

次のリストには、解決された既知のセキュリティの問題およびこのリリースの NetBackup Appliance に含まれている既知の問題が掲載されています。

## バージョン 4.1 の一般的なリリース内容

アプライアンスソフトウェアは RHEL 7.9 カーネルを使用しています。次のセキュリティ脆弱性に対処するパッケージとライブラリの一部が更新されました。

- RHSA-2021:1452
- CVE-2021-27219
- CVE-2016-4658
- CVE-2020-25648
- CVE-2021-22112
- CVE-2017-18640
- CVE-2020-13956
- CVE-2021-20328
- CVE-2021-21345
- CVE-2021-21346
- CVE-2021-21350
- CVE-2021-21344
- CVE-2021-21347
- CVE-2021-21351
- CVE-2021-21342
- CVE-2021-21349
- CVE-2021-21343
- CVE-2021-21341
- CVE-2021-21348
- CVE-2021-23358
- CVE-2021-27568
- CVE-2021-20277
- CVE-2021-26937
- CVE-2014-2524

# 関連マニュアル

この付録では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Appliance のマニュアルについて](#)

## NetBackup Appliance のマニュアルについて

次に挙げるマニュアルを参照すると、アプライアンスの正常なインストール、設定、使用に役立ちます。さらに、次の表でアプライアンスハードウェアのマニュアルについて説明します。

これらのマニュアルはすべて [NetBackup Appliance のマニュアルページ](#) に投稿されています。

表 B-1 NetBackup Appliance ソフトウェアのマニュアル

| ガイド                               | 説明                                                                                                                                          |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NetBackup™ 52xx Appliance 初期構成ガイド | このマニュアルには、NetBackup Appliance Web コンソールまたは NetBackup Appliance シェルメニューでの 52xx 構成プロセスが記載されています。                                              |
| NetBackup™ 53xx Appliance 初期構成ガイド | このマニュアルには、NetBackup Appliance Web コンソールまたは NetBackup Appliance シェルメニューでの 53xx 構成プロセスが記載されています。                                              |
| NetBackup Appliance アップグレードガイド    | このマニュアルには、NetBackup Appliance のアップグレードに必要な手順が記載されています。                                                                                      |
| NetBackup™ Appliance 管理者ガイド       | 『NetBackup™ Appliance 管理者ガイド』には次の種類の情報が記載されています。 <ul style="list-style-type: none"><li>■ 配備情報</li><li>■ アプライアンスの管理</li><li>■ 監視情報</li></ul> |

| ガイド                                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NetBackup™ Appliance コマンドリファレンスガイド        | 『NetBackup™ Appliance コマンドリファレンスガイド』には、NetBackup Appliance シェルメニューから使うことができるコマンド一覧が掲載されています。                                                                                                                                                   |
| アプライアンス管理ガイド                              | このマニュアルは、Veritas Appliance Management Console を使用して、複数の Appliance を一元管理する場合に役立ちます。Veritas Appliance Management Console では、NetBackup Appliance の全社規模の監視と管理が可能です。3.1 以降では、複数のアプライアンスでソフトウェアアップグレードを管理したり EEB をインストールできます。                        |
| NetBackup Appliance リリースノート               | このマニュアルには、このバージョンの NetBackup Appliance に関する情報が記載されています。リリース中の新機能の簡単な説明、リリース更新に適用される操作の注意、既知の問題が含まれます。                                                                                                                                          |
| NetBackup Appliance トラブルシューティングガイド        | このマニュアルでは、NetBackup appliance で発生した問題のトラブルシューティング方法の概要を示し、アプライアンスのトラブルシューティングツールとログファイルについて説明します。<br><br>特定の問題に関する特定のトラブルシューティング情報については、ベリタスのサポート Web サイトの <a href="#">NetBackup Appliance のページ</a> を参照してください。検索機能を使用して、特定の問題に関連する技術情報を検索できます。 |
| NetBackup Appliance 容量計画とパフォーマンスチューニングガイド | このマニュアルには、NetBackup Appliance およびバックアップ環境を最適化する方法に関する情報が記載されています。これにより、バックアップ要件を分析し、各自のニーズに最適なシステムを設計できます。                                                                                                                                     |
| NetBackup Appliance セキュリティガイド             | このマニュアルには NetBackup Appliance のセキュリティ機能、およびこれらの機能を使ってアプライアンス環境の安全性を確保するための方法が記載されています。                                                                                                                                                         |
| NetBackup Appliance ファイバーチャネルガイド          | このマニュアルには、NetBackup Appliance のサポート対象ファイバーチャネル (FC) の機能と設定が記載されています。                                                                                                                                                                           |
| NetBackup Appliance iSCSI ガイド             | このマニュアルでは、NetBackup Appliance で iSCSI がどのように機能するかについて説明します。                                                                                                                                                                                    |
| NetBackup Appliance の廃止と再構成ガイド            | このマニュアルには、NetBackup Appliance の廃止と再構成の方法が記載されています。                                                                                                                                                                                             |

| ガイド                                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NetBackup Appliance SNMP トラップリファレンスガイド         | このマニュアルでは、NetBackup Appliance SNMP トラップの詳しいリストを提供します。各トラップの意味と、エラー発生時の推奨措置について説明します。                                                                                                                                                                                |
| NetBackup Copilot for Oracle 初期構成ガイド           | このマニュアルでは、NetBackup および NetBackup Appliance を使用して Copilot を構成する方法の概要が記載されています。                                                                                                                                                                                      |
| NetBackup Appliance のサードパーティの法的通知              | 『NetBackup Appliance のサードパーティの法的通知』のマニュアルはこの製品に含まれているサードパーティソフトウェアをリストし、サードパーティソフトウェアの属性を記載しています。<br><br>このマニュアルは次の Web サイトから利用可能です。<br><a href="https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements">https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements</a> |
| NetBackup™ Appliance AutoSupport 2.0 リファレンスガイド | このマニュアルには、AutoSupport 2.0 に関する情報が記載されており、AutoSupport インフラの配備方法や、AutoSupport インフラで各アプライアンスのコールホームデータを分析する方法を把握できます。                                                                                                                                                  |
| NetBackup™ 53xx Appliance 高可用性リファレンスガイド        | このマニュアルには、高可用性 (HA) ソリューションに関する情報が記載されています。高可用性構成の配備を理解することに役立ちます。                                                                                                                                                                                                  |

表 B-2 NetBackup Appliance ハードウェアのマニュアル

| ガイド                             | 説明                                                               |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| NetBackup™ 5240 Appliance の製品説明 | このマニュアルには、NetBackup 5240 Appliance とストレージシェルフの概要が記載されています。       |
| NetBackup™ 5250 Appliance の製品説明 | このマニュアルには、NetBackup 5250 Appliance とストレージシェルフの概要が記載されています。       |
| NetBackup™ 5330 Appliance の製品説明 | このマニュアルには、NetBackup 5330 Appliance とストレージシェルフの概要が記載されています。       |
| NetBackup™ 5340 Appliance の製品説明 | このマニュアルには、NetBackup 5340 Appliance と 5U84 ストレージシェルフの概要が記載されています。 |

| ガイド                               | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NetBackup™ Appliance 安全とメンテナンスガイド | <p>このマニュアルには、以下のハードウェアに関する安全情報とメンテナンス情報が記載されています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ NetBackup 52xx Appliance</li><li>■ NetBackup 53xx Appliance</li><li>■ Veritas 3U16 24 TB/36 TB ストレージシェルフ</li><li>■ Veritas 2U12 49 TB ストレージシェルフ</li><li>■ Veritas 5U84 ストレージシェルフ</li></ul> |